



令和元・2年度
東京都教育委員会 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校
調布市教育委員会 研究推進校

調布市立神代中学校 研究発表

研究主題

新しい問題にであったとき、

自ら学び考える生徒の育成

～SDGs達成に向けた、ESDの視点を取り入れた授業実践を通して～



調布市教育委員会教育長 大和田 正治

この度、調布市立神代中学校は、令和元・2年度東京都教育委員会 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校並びに調布市教育委員会研究推進校として「新しい問題にであったとき、自ら学び考える生徒の育成～SDGs達成に向けた、ESDの視点を取り入れた授業実践を通して～」を研究主題として研究を進め、ここにその成果を発表されますことを、心から感謝申し上げます。

貴校は、教育目標の「自ら学び、考える人になろう」を効果的に達成するため、ESDの視点を取り入れた実践を行うとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、SDGsという明確な目標の達成に向けESDの視点を取り入れた授業改善を図ってられました。

本研究の成果が、市内はもとより、多くの学校において、子どもたちの学びの質の向上につながっていくことを願っております。

校長 高橋 剛三

令和元・2年度東京都教育委員会 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校、調布市教育委員会研究推進校として「自ら学び考える生徒の育成」を研究主題に、授業研究を行って参りました。

東京都多摩教育事務所指導課 富田広先生の御指導の下、SDGs達成に向けESDの視点を取り入れた授業の在り方についての研修を重ねてまいりました。元東京都立特別支援学校校長の引間宗人先生には、特別支援学級における取組についてお力添えを賜りました。調布市教育委員会教育長 大和田正治様を始め、教育委員会の皆様にも御指導いただきました。御指導、御協力下さった、皆様方に厚く御礼申し上げます。

今年度は研究発表会を予定しておりましたが、感染症予防対策のため、紙面発表という形となりました。直接生徒たちの活動を見ていただけず残念でした。

本校では、2030年のSDGs達成目標に向けて、今後も継続してこの研究に取り組んで参ります。

令和2年11月27日(金)
調布市立神代中学校

〒182-0016 東京都調布市佐須町5丁目26-1

電話：042-482-0171 ファクシミリ：042-499-4191

ホームページ URL：<https://www.chofu-schools.jp/jindaichu>



関連施策

教育基本法
学校教育法
学習指導要領前文
東京都教育委員会教育目標
調布市教育委員会教育目標

学校教育目標

- (1) 自ら学び、考える人になろう
- (2) 礼節を重んじ、思いやりのある人になろう
- (3) 骨身惜しまず、働く人になろう
- (4) 体を鍛え、健康な人になろう

教員の願い

地域・家庭の願い



国際的な要請

持続可能な開発目標
SDGs

生徒の実態

- 素直で真面目 ○行事や部活動に熱心 ○落ち着いた生活態度
- 自らの意志や判断で物事を進めようとする主体性・自主性に課題

研究主題

新しい問題にであったとき **自ら学び考える生徒の育成**
～SDGs達成に向けた、ESDの視点を取り入れた授業実践を通して～

目指す生徒像

- 問題解決に必要な能力・態度を身に付け、今まで学習してきたことを生かして自らの力で解決しようとする生徒
- 持続可能な社会づくりに関する課題に対して主体的に、筋道を立てて考える生徒

研究仮説

ESDの視点を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善・授業実践

SDGs (17項目) と関連付けた教科等横断的取組

持続可能な社会の担い手となる「自ら学び考える」生徒が育成されるであろう

研究組織・方法

研究推進委員会

校長・副校長・主幹教諭・研究主任・各部長

授業改善部会

・ESDの視点を取り入れた授業改善

持続可能な社会づくりの構成概念

- I 多様性 (いろいろある)
- II 相互性 (関わり合っている)
- III 有限性 (限りがある)
- IV 公平性 (一人一人大切に)
- V 連携性 (力を合わせて)
- VI 責任性 (責任をもって)

問題解決に必要な能力・態度

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的・総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりやを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度

- ・「主体的・対話的で深い学び」授業チェックシート
- ・「深い学び」のための振り返りサブノート
- ・SDGs (17項目) と関連付けた授業実践

教科等横断的取組部

- ・ESD教科等横断カレンダーの作成&活用、カリキュラム・マネジメント
- ・生徒対象SDGs学習会
- ・総合的な学習の時間におけるSDGsをテーマとした学年別取組
- ・委員会・部活動での取組
- ・ESD・SDGsの視点を取り入れた個別の教育支援計画

ESDとSDGs 17の目標



外部人材地域活用・校内環境啓発部会

- ・講演会 (SDGs・特別支援・オリンピック・パラリンピック)
- ・ゲストティーチャーによるSDGsワークショップ
- ・集会・掲示物・通信・ホームページ発信
- ・アンケート実施・分析・評価

教科部会

学年部会

特別支援学級 (10組) 部会



授業改善部

ESDの視点を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・授業実践を通して、「自ら学び考える」生徒を育成する。

《目指す生徒の姿》

- ・他教科で学習した内容や社会とのつながりに気付く生徒
- ・新たな課題を見付ける生徒

- ◆授業改善チェックシートを基にした授業実践の共有と協議
- ◆教員アンケートの結果分析と課題への対策

Action Plan

- ◆授業改善チェックシート
- ・単元ごとに自己の授業を振り返る。
- ・「主体的・対話的で深い学び」のチェックリストをすべて“あてはまる”にすることを目標とする。

Check Do

- ◆ESD・SDGs・「主体的・対話的で深い学び」の授業や指導方法の教員共通理解
- ◆生徒への意識化を図るためのSDGs(17項目)アイコンの提示方法についての提案
- ◆育成したい資質・能力を明確にした学習指導案の作成



- ◆SDGs(17項目)のアイコンマグネットを具体的に活用した授業実践



- ◆「深い学び」のための振り返りサブノート
- ・生徒が単元ごとに学習内容の振り返りをサブノートに記入し、自分の学習過程を振り返ることで次時に生かす。

「主体的・対話的で深い学び」のための授業チェックシート (教員用)

教科： _____ 単元名： _____

1. 生徒に提示した各授業の「めあて」または「目標」

第1回	第6回
第2回	第7回
第3回	第8回
第4回	第9回
第5回	第10回

2. 「主体的・対話的で深い学び」チェックリスト

主体的な学び	生徒に「何を」「何のために」「どのようにして」学ぶのか見通しをもたせられた。	<input type="checkbox"/>
	生徒が自分の学びを振り返る時間をとれた。	<input type="checkbox"/>
対話的な学び	意図や目的を明確にした対話や話し合いの場を設定できた。	<input type="checkbox"/>
	生徒同士の考えを共有させ、それぞれの考えを深めることができた。	<input type="checkbox"/>
深い学び	生徒の今までの学びや他教科での学び、今後の学びと関連付けて授業を行えた。	<input type="checkbox"/>
	生徒が、学習する内容を理解するだけでなく、自分の考えをもち、それを表現させる活動ができた。	<input type="checkbox"/>

3. 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために行った授業の工夫

.....

.....

.....

- ◆「主体的・対話的で深い学び」の授業を実現するための教員アンケートの実施

「深い学び」のための振り返りサブノート

年 組 番 名 前 _____

教科： _____ 単元： _____

1 この単元の授業を受けて下にある力や態度をどれくらい伸ばせられたか、数字を〇で囲もう！

	伸ばすことができた力や態度	あまりできなかった **	とてもできた
① 批判的に考える力 《批判》	1・2・3・4		
② 未来像を予測して計画を立てる力 《未来》	1・2・3・4		
③ 多面的・総合的に考える力 《多面》	1・2・3・4		
④ コミュニケーションを行う力 《沟通》	1・2・3・4		
⑤ 他者と協力する力 《協力》	1・2・3・4		
⑥ つながりを尊重する態度 《関連》	1・2・3・4		
⑦ 進んで参加する態度 《参加》	1・2・3・4		

2 この単元の学習で今までに他教科で習って役に立った内容は何だろう。

●教科： _____ 内容・単元： _____

●教科： _____ 内容・単元： _____

●教科： _____ 内容・単元： _____

3 この単元の内容に関連したSDGsにチェックをつけよう！ (複数回答可)

SDGs	チェック	SDGs	チェック
1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	10 人や国の不平等をなくそう	<input type="checkbox"/>
2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	11 住み続けられるまちづくりを	<input type="checkbox"/>
3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	12 つくる責任 つかう責任	<input type="checkbox"/>
4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	13 気候変動に具体的な対策を	<input type="checkbox"/>
5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	14 海の豊かさを守ろう	<input type="checkbox"/>
6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	15 陸の豊かさも守ろう	<input type="checkbox"/>
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	16 平和と公正をすべての人に	<input type="checkbox"/>
8 働きがいも経済成長も	<input type="checkbox"/>	17 パートナリシップで目標を達成しよう	<input type="checkbox"/>
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	<input type="checkbox"/>		

4 この単元で学んだことについて、自分の身の回りで困っていることや、世界の課題に対してどのように役立てられそうですか？

どんな問題か	具体的な活用法



教科等横断的取組部

第1回SDGs学習会

令和2年7月16日(木) 1・2学年対象

～SDGsの基本理解～

テーマ: 17の目標を知り、途上国と日本の課題の共通点や違いを考える。

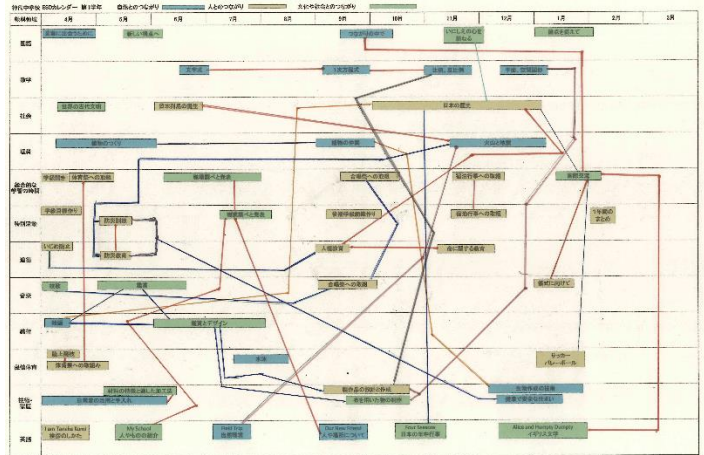


他教科等や社会とのつながりを考え、深い学びにつなげる ESDカレンダーの作成

教員作成のESDカレンダー

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	書業に出会うために	新しい視点へ				つながりの中で	いにしえの心を 読む			論点を捉えて		
数学			文字式			1次方程式	比例、反比例	平面、空間図形				
社会	世界の古代文明	日本列島の歴史						日本の歴史				
理科	植物のつくり					植物の仲間		火山と地震				
総合的な 学習の時間	学級別	体育祭への取組	職場調べと発表			合唱祭への取組	宿泊行事への取組	国際交流				
特別活動	学級目標作り	防災訓練	職業調べと発表			後期学級組作り	宿泊行事への取組	1年間の まとめ				
道徳	いじめ防止	防災教育				人権教育	命に感謝する教育					
音楽	校歌	鑑賞				合唱祭への取組						
美術	絵画					鑑賞とデザイン						
保健体育	陸上競技	体育祭への取組み				水泳		サッカー バレーボール				
技術・ 家庭			材料の特徴と適した加工法			製作品の設計と作成		生物分野の技術				
英語	I am Tanaka Kumi 挨拶のしかた	My School 人やもの紹介	Field Trip 自然環境			Our New Friend 人や場所について	Four Seasons 日本の年中行事	Alice and Humpty Dumpty イギリス文学				

生徒作成のESDカレンダー



【生徒の感想より】

・一見関係ないように思われていた教科に“つながり”があることに驚いた。

・他の班のカレンダーを見て授業が世界とつながっていることを感じた。これからも、自分で“つながり”を見つけていきたい。



第2回SDGs学習会

令和2年9月24日(木) 1・2学年対象

～SDGsの学びを深める～

テーマ:

自らの行動宣言をする。

“2030にむかって、私がしていくこと”

生徒が考えた行動宣言から抜粋

行動宣言 2030年にむかって、私がしていくこと

関連するゴールの番号	10	11	16	
------------	----	----	----	--

自分がかかわる人全員に親しく接するよう努力する。全ての人の笑顔が見られる学校・町・世界をつくる。

年 組 番 名前

行動宣言 2030年にむかって、私がしていくこと

関連するゴールの番号	3	4	17	
------------	---	---	----	--

いろんな人(世界)とつながる。会話ができるように英語を頑張る。世界中のボランティアに参加したい。

年 組 番 名前

各委員会の主体的な取組

生徒会

- SDGs 17の目標を紹介する“1分間コマーシャル”
- ①「貧困をなくそう」について全生徒に知ってもらうための動画発信をします。

給食委員会

- ②「飢餓をゼロに」を考え、残菜を減らす声掛けをしていきます。

保健委員会

- ⑥「安全な水とトイレを世界中に」を考え、水道の使い方と呼び掛けるポスターの掲示をしていきます。

整備委員会

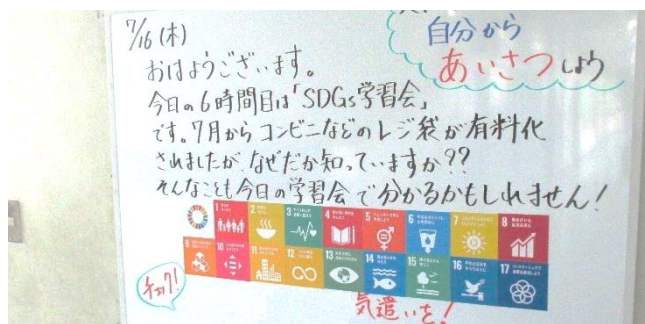
- ⑫「つくる責任 つかう責任」を考え、教室でのごみの分別と呼び掛けていきます。



外部人材校内環境啓発部

校内啓発用掲示・アンケート

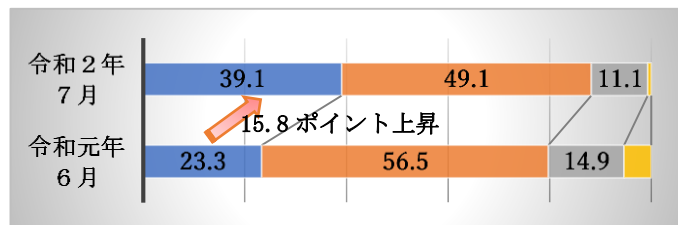
- ・SDGsの啓発と授業での活用を目的に校内・教室への掲示を行う。
- ・生徒、教員へのアンケート実施。



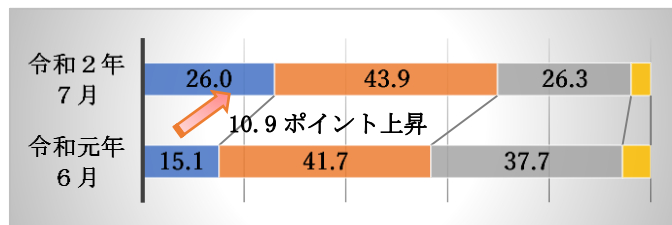
生徒アンケートの結果 (令和元年6月・令和2年7月実施 現第2学年で実施)

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

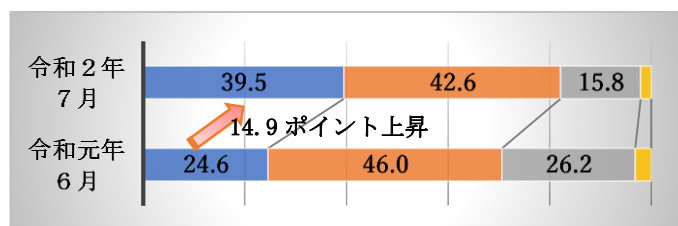
課題を解決するために自分なりの工夫をしている。



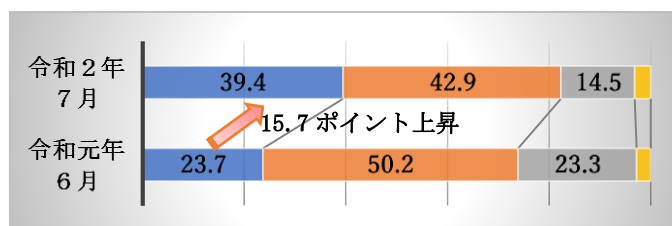
自ら学びの振り返りをしている。



自らの考えを、理由をつけて説明したり書いたりしている。



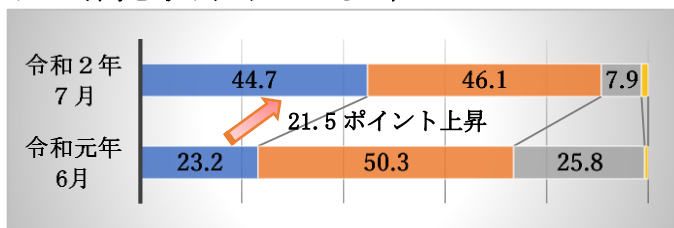
その授業で学んだことが、次の授業や前の授業、さらに他の教科にも関連していると感じている。



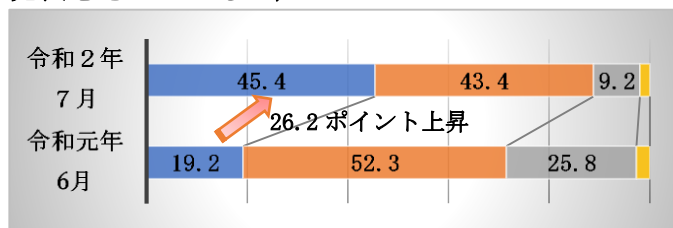
教員授業改善アンケートの結果（本校教員 43 人対象）

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

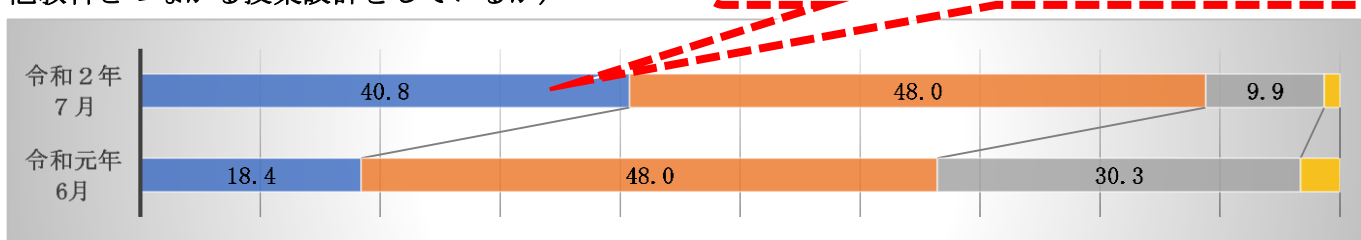
主体的な学び（目標の提示や見通し、振り返りの時間を取り入れているか）



対話的な学び（話し合い、理由をつけての意見発表をさせているか）



深い学び（生徒一人一人の学びの見取りや支援、他教科とつながる授業設計をしているか）



2年間の研究の成果

生徒

☆自ら学び、考え、伝え、振り返る

学習指導や総合的な学習の時間、生徒会活動や校内掲示などに広くSDGsを取り入れたことや、授業改善を図ったことで、課題に対して自分なりの考えをもち、伝え合い、学びを振り返り、工夫して解決を図ろうとする生徒が大幅に増えた。

☆つながり意識の向上

教科等横断的取組や、協働、話し合い、学び合いを日常化したことで、「人とのつながり」、「社会とのつながり」、「学びのつながり」を意識する生徒が大幅に増えた。

教員

☆授業改善

ESDの視点取り入れた授業実践、授業改善チェックシートを活用した定期的な自己点検により、「主体的・対話的で深い学び」を定着させてきた。

☆目的の明確化と研究への意識の向上

「自ら学び考える生徒」の姿を共通の願いとしてもつことで、研究を自分事として捉え、意欲的に取り組むようになった。

☆ESDカレンダーの作成と活用

ESDカレンダーを作成することで教科・領域を関連付けたカリキュラムデザインを行い、学年や教科等とのつながりを意識した学習指導を見通し立てて行うことができるようになった。

今後の課題

●地域・保護者との連携の強化

本校の研究の取組について、学校公開、通信、ホームページなどを通してより広く発信し、関心を高めることで、家庭・地域・学校がこれまで以上に連携を図っていく。

●ESDカレンダーの更新

作成したESDカレンダーを基に、カリキュラム・マネジメントの一層の充実を図り、教科等横断的な学習を工夫して進めていく。

●アンケートの活用

アンケート結果を更に分析し、生徒の実態を把握し、更なる授業改善の具体的な方策や今後の指導の手だてなどについて検討する。

●生徒の主体的な取組を促進

生徒会活動にとどまらず、部活動や地域活動など、教育活動全体において、課題に対して生徒が主体的に考え取り組めるよう、意図的・計画的に働きかけていく。